（公社）日本歯科先端技術研究所 中国・四国地区会

2027年 新年会・講演会

口腔外科の原則に基づく
吸収性骨補填材の活用

日時：2027年1月31日（日）9：30〜11：30

会場：山口グランドホテル

〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町1-1

TEL：083-972-7777 ／ Zoomによる配信はございません。

講師：豊嶋 健史 先生

医療法人社団新樹会 豊嶋歯科医院



豊嶋 健史 先生

略歴
2001 年　九州大学歯学部卒業 歯科医師免許取得
2005年　九州大学歯学部歯学研究院卒業 歯学博士取得
2005-2007年　エアランゲン＝ニュルンベルグ大学口腔外科 留学（リサーチフェロー）
2007-2009 年　ヨハネス＝グーテンベルグ大学マインツ口腔外科 留学（リサーチフェロー，ITI クリニカルスカラー2007, 2008）
2009-2015年　九州大学病院顎顔面口腔外科 助教
2015年-現在　医療法人社団新樹会 豊嶋歯科医院 勤務，香川大学医学部口腔外科 非常勤講師
2016年-2023年　神奈川歯科大学 客員教授
2025年-現在　九州大学歯学部 臨床教授，神奈川歯科大学 客員教授
所属学会など
日本口腔インプラント学会認定 専門医，中四国支部代議員
日本口腔外科学会認定 口腔外科専門医
日本口腔科学会 認定医
日本補綴歯科学会 認定医
日本臨床歯周病学会中四国支部理事
ITIフェロー
ITI日本支部公認インプラントスペシャリスト
ITIスタディクラブ四国ディレクター

抄録

インプラント治療は外科手術を伴うために，口腔外科の原則を理解しておくことが望ましい．時折，原則を逸脱した治療コンセプトが散見されるが，地域医療のひとつとして行われるインプラント治療は，無理なく地に足をつけて継続維持されるべきものである．

本発表では，歯科用コラーゲン使用骨再生材料（リフィットデンタル®）やコラーゲン使用人工骨（ボナーク®）を歯槽堤温存術（ARP）に活用することで上顎臼歯部欠損に対して大規模な上顎洞底挙上術を回避もしくはクレスタルアプローチで対応した症例や，上顎前歯部単独歯欠損に対してARPにより治療過程の簡素化を図った症例を供覧する．また，上顎前歯部複数歯欠損に対してARPを行い，ナローインプラントを使用した補綴設計にすることでGBRの規模を縮小した症例を供覧する．

ふたつの吸収性骨補填材を効果的に使用することにより，私たちは患者各々の状況に応じて無理のないインプラント治療を実現できる．これらの吸収性骨補填材の特性について整理し，また，使用薬剤の潮流，感染予防策の基本，直近の実験結果などを時間の許す限り紹介し，私たちのこれからの日常臨床に活かせるようなディスカッションができれば幸いである．

スケジュール

1月30日（土）19：30〜 新年会

新年会参加費：15,000円

1月31日（日）9：30〜11：30 講演会

講演会参加費：無料

お申込み・お問い合わせ先

日本歯科先端技術研究所事務局

〒105-0014 東京都港区芝1-8-25　芝TKビル4F

TEL:03-5476-2004　FAX:03-5476-2006

E-mail: nissenken@dental.email.ne.jp

https://www.nissenken.org

中国・四国地区会 新年会・講演会 参加申込方法

日先研事務局へ、以下の内容を記載してメールにてお申し込みください。

①氏名 ②連絡先TEL ③参加項目（新年会・講演会）